

教科名	知の構築技法
責任者名	田村 宗明(細菌学 准教授)
学期	前期
対象学年	2学年
授業形式等	演習

◆担当教員

田村 宗明 (細菌学 准教授)
田邊 奈津子 (生化学 准教授)
湯口 眞紀 (解剖学Ⅱ 助手)
浅野 正岳 (病理学 教授)
坪井 美行 (生理学 専任講師)
小林 眞之 (薬理学 教授)
武市 収 (歯科保存学Ⅱ 教授)
菅野 直之 (歯科保存学Ⅲ 准教授)

◆一般目標 (GIO)

理解すべき知識をノートテイキングによって自ら収集し、整理・体系化できるようになるために、トレーニング的に何度も反復することで、“技法(わざ)”を身につける。

◆到達目標 (SBOs)

- ・理解すべき知識を自ら収集することができる。
- ・整理・体系化したノートテイキングができる。

◆評価方法

定期試験は行わない。提出物を基礎データとして、成績評価表示S, A, B, Cによる相対評価を行う。参考になるノートテイキングは授業内で提示して参考にしてもらう。前半6項目は各々10%, 後半2項目はそれぞれ20%の比率で評価します。なお各項目ごとに2回目の授業の時に模範となるノートの紹介など、学修方法のフィードバックがなされます。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	備考
田村 宗明	月曜日 17:00~19:00 場所：本館6F感染症免疫学講座	
田邊 奈津子	月-金曜日 12:00~13:00 場所：本館6F生化学講座	
湯口 眞紀	月曜日 12:00~13:00 場所：本館5F解剖学第Ⅱ講座	
浅野 正岳	月曜日 17:00~18:00 場所：本館6F病理学教授室	
坪井 美行	水曜日 17:00~18:00 場所：本館7F生理学講座	
小林 眞之	金曜日 17:00~18:00 場所：本館7F薬理学教授室	
武市 収	月曜日 17:00~18:00 場所：本館6階 保存学第Ⅱ講座教授室	

担当教員	対応時間・場所など	備考
菅野 直之	月曜日 17:00~18:00 場所：本館6階 保存学第Ⅲ講座医局	

◆授業の方法

【スキルアップ <2回~13回>】

この演習ではスキルアップ・トレーニングを都合6セット実施するが、その各々は、原則として次のような手順で進められ、2週で2件の提出物 CKG が生じる(6セットでは合計 12 件)。ただし、担当者によっては授業方法ならびに評価方法が異なる場合はあるため、メールならびにclassroomを随時確認しておくこと。

[第1週]

- ① 担当者による“教材としての講義” (50 分前後)
- ② 学生は、配付される所定のノートテイク用紙 [CKG-1] に聴講内容を記録
- ③ 聴講後、取ったノートを学生間で交換し、記載内容について互いにチェックし、改良点を列挙（今年度は実施しない場合があります）
- ④ 学生によるアドバイスを元に、自分で改良点を記載（今年度は実施しない場合があります）
- ⑤ 担当者は、CKG-1 を学生に提出させて次週までに精査

[第2週]

- ⑥ 第1週に提出されたノートの中で参考となるもの (Selected CKG-1) を、学生全員に電子配信
- ⑦ 学生が取ったノート CKG-1 を返却。精査した結果については担当者が学生に総合講評。また、学生同士で評価し合うグループワークを実施する。（今年度は実施しない場合があります）
- ⑧ 学生は、Selected CKG-1 をもとに、課題（テスト）に取り組んで解答 [CKG-2]
- ⑨ 担当者は、第2週 of CKG-2 を学生に提出させて後日採点

【講演演習 <14回、15回>】

この演習では講演の聴講を2度実施するが、その各々は、原則として次のような手順で進められ、1講演に付き、「学生が取ったノート、聴講サマリー」という2件の提出物、すなわち CKG-3, 4 が生じる (2講演で合計4件)。

- ① 講演内容をノートテイク [CKG-3]
- ② 学生と演者での質疑応答
- ③ 学生は、講演内容について聴講サマリー [CKG-4] をまとめる (40 分前後)。
- ④ 担当者 (& 演者) は、CKG-3 と CKG-4 を学生に提出させて後日採点

◆アクティブ・ラーニング

学生に自ら知識を収集して理解し、その内容をまとめさせることによって、個々の学修能力を向上させる。

◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

教科書： 指定しない。本教科の趣旨にもとづいて、プリント配付も最小限に留める。

参考書： 指定しない。更なる学習のために担当者が授業時に紹介することがある。

◆DP・CP

DP4

コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

CP3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

演習の趣旨に照らし準備学習は不要だが、第2週目までに自分のノートテイキングの良いところと悪いところ、その改善点などを考えること。授業時間中は“ひたすら書く”こと。

◆準備学習時間

学生間での指摘事項について確認する時間や自身のノートテイキング自己評価を行い改善点を見出すことに、1項目につき1時間30分程度の時間を作ること。

◆全学年を通しての関連教科

全ての授業に関連する。

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.7	7 ~ 8	【遠隔】 ガイダンス 教材講義の テーマ： 本講のシス テムとねら い	種々あるノートテイキングの 方法を理解する。	田村 宗明	A-2-1) 課題探求・解決 能力
2		4.14	7 ~ 8	【遠隔】 スキルアッ プⅠ 第1 週 教材講義の テーマ： 感染症と炎 症 -病原 微生物と免 疫機構-	授業後の学習に有効なノート テイキングが出来る。	田村 宗明	A-2-1) 課題探求・解決 能力
3		4.21	7 ~ 8	【遠隔】 スキルアッ プⅠ 第2 週 教材講義の テーマ： 感染症と炎 症 -病原 微生物と免 疫機構-	参考になるノートテイキング を参考にして改善点を見つけ より有効なノートテイキング が出来る。 教材講義内容を自身のノ ートを使って解くことが出来 る。	田村 宗明	A-2-1) 課題探求・解決 能力
4		4.28	7 ~ 8	【遠隔】 スキルアッ プⅡ 第1週 教材講義の テーマ： ケミカルメ ディエータ ー	授業後の学習に有効なノート テイキングが出来る。	田邊 奈津子	A-2-1) 課題探求・解決 能力
5		5.5	7 ~ 8	【遠隔】 スキルアッ プⅡ 第2 週 教材講義の テーマ： ケミカルメ ディエータ ー	参考になるノートテイキング を参考にして改善点を見つけ より有効なノートテイキング が出来る。 教材講義内容を自身のノ ートを使って解くことが出来 る。	田邊 奈津子	A-2-1) 課題探求・解決 能力
6		5.12	7 ~ 8	【遠隔】 スキルアッ プⅢ 第1 週 教材講義の テーマ： 炎症に関す る細胞とそ の位置づけ	授業後の学習に有効なノート テイキングが出来る。	湯口 眞紀	A-2-1) 課題探求・解決 能力

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
7		5.26	7 ～ 8	【遠隔】 スキルアップⅢ 第2週 教材講義のテーマ： 炎症に関する細胞とその位置づけ	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って解くことが出来る。	湯口 真紀	A-2-1) 課題探求・解決能力
8		6.2	7 ～ 8	【遠隔】 スキルアップⅣ 第1週 教材講義のテーマ： 炎症の形態学的分類と その特徴	授業後の学習に有効なノートテイキングが出来る。	浅野 正岳	A-2-1) 課題探求・解決能力
9		6.9	7 ～ 8	【遠隔】 スキルアップⅣ 第2週 教材講義のテーマ： 炎症の形態学的分類と その特徴	前週のノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って解くことが出来る。	浅野 正岳	A-2-1) 課題探求・解決能力
10		6.16	7 ～ 8	【遠隔】 スキルアップⅤ 第1週 教材講義のテーマ： 痛みの発生機構と炎症	授業後の学習に有効なノートテイキングができる。	坪井 美行	A-2-1) 課題探求・解決能力
11		6.23	7 ～ 8	【遠隔】 スキルアップⅤ 第2週 教材講義のテーマ： 痛みの発生機構と炎症	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って解くことが出来る。	坪井 美行	A-2-1) 課題探求・解決能力
12		6.30	7 ～ 8	【遠隔】 スキルアップⅥ 第1週 教材講義のテーマ： 抗炎症薬	授業後の学習に有効なノートテイキングができる。	小林 真之	A-2-1) 課題探求・解決能力
13		7.7	7 ～ 8	【遠隔】 スキルアップⅥ 第2週 教材講義のテーマ： 抗炎症薬 *土曜日 11時～11時50分,12時～12時50分	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って解くことが出来る。	小林 真之	A-2-1) 課題探求・解決能力

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
14		7.14	7 ~ 8	【遠隔】 講演聴講 Ⅶ 講演テーマ： 歯髄炎と根 尖性歯周炎 の病因と治 療	歯科臨床についての講演を聞き、講演後演者への質問を行うための有効なノートテイキングが出来る。	武市 収	A-2-1) 課題探求・解決能力
15		7.21	7 ~ 8	【遠隔】 講演聴講 Ⅷ 講演テーマ： 歯周病と全 身の健康	講演後、演者への質問を行うための有効なノートテイキングが出来る。	菅野 直之	A-2-1) 課題探求・解決能力

閉じる

Topに戻る